

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	6企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんあまーびれふるいはーもにかんげんがくだん 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団		団体ウェブサイトURL https://amabile-phil.com/
代表者職・氏名	理事長 大門 信哉		
制作団体所在地	〒 567-0804	最寄り駅(バス停)	阪急電鉄京都線総持寺駅 大阪府茨木市総持寺台1-14-1
電話番号	072-648-5874		
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんあまーびれふるいはーもにかんげんがくだん 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団		団体ウェブサイトURL https://amabile-phil.com/
代表者職・氏名	理事長 大門 信哉		
公演団体所在地	〒 567-0804	最寄り駅(バス停)	阪急電鉄京都線総持寺駅 大阪府茨木市総持寺台1-14-1
制作団体 設立年月	2015年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 大門 信哉 副理事長 堂免 直孝 常任理事 森田 龍親		事務局員 10名 指揮者2名ライブラリアン2名 コンサートマスター1名 演奏員42名 入団条件:オーディションにおける審査の後、理事会で承認を得る
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	事務局長 吉松 美香
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	税理士 山野 展弘
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	contact@amabile-philharmonic.com		

<p>制作団体沿革</p>	<p>一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 当楽団は「若手演奏家にもっと演奏の場を」という思いのもと、2015年7月1日に設立。以来積極的に演奏会を重ね、公演回数は300を超える。 創立5年にして2020年6月に日本オーケストラ連盟に準会員として加入し、地元茨木市に根付いた活動に重点を置きながらも広く演奏活動に取り組む。 「定期演奏会」は第14回、ソリストを主役に迎える「コンチェルトシリーズ」は第20回、創設当初から根強いリピーターを獲得してきた「サロンコンサートシリーズ」は第200回を迎える。</p> <p>2022年は「親子コンサート」をすでに2回実施しており、各回ともに満席となっている。 茨木市を中心とした学校などの教育機関への有償訪問公演、外部からの依頼公演なども積極的に実施している。 2023年度も「0歳から楽しめるファミリーコンサート」や「文化庁による学校公演」「アート・キャラバン」への参加等全国で幅広く活動している。子どもたちへの無料ワークショップも多く実施しており、未来の音楽家の育成にも積極的に取り組んでいる。 楽団Youtubeアカウント、ツイキャスから演奏動画を配信するなど他のオーケストラには見られない最先端の広報活動を行っている。広い世代へのクラシック音楽の振興、より広く楽団を周知する活動等に努めている。</p> <p>常任指揮者・音楽監督に松岡究を擁している。</p>					
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2019年度 親子コンサート 7回 2020年度 幼稚園・保育園公演 4回 2021年度 幼稚園・保育園公演 9回 ファミリーコンサート 3回 2022年度 文化庁 文化芸術による子供育成推進事業 巡回公演 本公演 24回 文化庁 子どものための文化芸術再興体験事業 学校による提案型 本公演 48回 幼稚園保育園公演 3回 ファミリーコンサート「0歳から楽しめるクラシックコンサート」 1回 ファミリーコンサート「オーケストラの宝箱」 2回 小学校有償公演「オーケストラを「知る」クラシックコンサート」 6回 小学校有償公演 周年記念行事 2回 子ども会コンサート 1回 2023年度 文化庁 文化芸術による子供育成推進事業 巡回公演 本公演 8回 文化庁 文化芸術による子供育成推進事業 文化施設等活用型 7回 学校有料公演 12回 ファミリーコンサート「0歳から楽しめるファミリーコンサート」 1回 幼稚園・保育園公演 3回 子どもワークショップコンサート 5回</p>					
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>支援学級への対応経験あり。 打ち合わせ段階からどのような支援が必要な子どもたちかを担当の先生から丁寧に聴き取る。 音に対する不安感や、演出に対しての配慮が必要な場合は演奏の仕方を工夫するなどして対応する。</p> <p>視覚的支援、聴覚的支援、環境的配慮など項目ごとに学校様が必要としている内容を公演に活かす。 視覚的支援が必要であればボード型の説明や事前に先生に台本や映像をお渡しするなどが可能。 聴覚的支援であれば、鑑賞可能な場所の設定を広げたり、鑑賞位置による聴こえ方の提示を行い児童生徒に合った場所を選択してもらうことが可能。 身体的支援では、リズム体験などの際には児童生徒が参加可能なリズム打ちの方法を数種類提示し全員のお子様楽しめる工夫ができる。</p> <p>ヴァイオリン体験など実際に楽器を触る場面では、事務局員が特に配慮が必要な児童生徒へ対応しそれぞれの特性に合った体験活動ができるよう補助する。</p>					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtube.com/playlist?list=PLTVviiU0bRjrZSBbVcsJxqWrAdh737Xgc&si=1Ju4</p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	アマービレフィルのオーケストラ「体感」クラシックコンサート♪			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	1 山田耕筰/序曲ニ長調 2 ご挨拶・弦楽器紹介 3 M.ブルッフ/弦楽のためのセレナーデ より 第3楽章 4 管打楽器紹介 5 曲:山田耕筰 詩:北原白秋/からたちの花 6 ★J.S.バッハ/リズムの効果体感コーナー～管弦楽組曲第3番第2曲「アリア」を使って～ 7 ★ヴァイオリン体験 休憩 8 ★G.ビゼー/指揮者体験コーナー～カルメン より「前奏曲」を使って～ 9 I.ストラヴィンスキー/バレエ音楽「プルチネルラ組曲」より i. シンフォニー iii. スケルツォ～アレグレット～アンダンティーノ iv. タランテラ(繰り返しなし) v. トッカータ vii. ヴィーヴォ viii. メヌエット～フィナーレ 10 ★校歌 アンコール ★J.シュトラウス I 世 /ラデツキー行進曲			★は共演、体験コーナー
	公演時間		90	分
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	別添あり			
演目選択理由	小編成管弦楽に特化したプログラムです。かつ本企画は日本発のコンテンツに重点を置いており、山田耕筰作品を取り上げています。特殊な楽器を使用せず、かつ各曲が強い個性を放ち聴衆を飽きさせないラインナップで、運営コストパフォーマンスに優れた編成となっております。前半は序曲の後は弦楽器→管楽器→打楽器の順番で紹介しながらその特色のある作品を演奏していくスタイルです。各楽器の音色が重なり合っていく過程を意識して鑑賞いただけます。楽器運搬もハイエース一台で移動が可能のため、登下校との兼ね合いや車の留め置き問題などがある学校様のご事情にも対応可能です。また、オーケストラが学校へ伺う際に難点となる控室の問題にも対応可能な人数ながら、本格的なクラシック体験ができるような演目を選択致しました。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	●リズムの効果体感コーナー 新型コロナ感染症対策がどのように変化しているかを考慮した上で、歌唱やリコーダーを伴わず、手拍子での参加を効果的に練った演目となります。参加者に演奏していただくリズムパターンはワークショップを含め本公演内でも当団演奏者がレクチャーし、本公演に於いても前に立ち先導してより一体感をもって参加していただけるよう練ってあります。曲の進行と共に編成も大きくなりリズムの効果が高まるよう編曲を施してあります。 ●指揮者体験コーナー 指揮者の実演と指揮解説とレクチャーを行った後、実際にオーケストラを指揮していただけます。2名を考えておりますが、体験者の選考方法や人数は学校側のご要望に柔軟に対応させていただきます。 ●校歌 感染症対策をしながら、オーケストラでの校歌を一緒に歌ったり聴いたりできます。 ●ヴァイオリン体験コーナー 実際に本物のヴァイオリンに触れて子どもたちに音を出していただく体験に加えて、鑑賞する子どもたち・教職員も全員にヴァイオリンに触れていただくコーナー。			
出演者	指揮者 うた・司会・語り/1名 管弦楽/一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団 本公演に参加する編成 フルート2名、オーボエ2名、クラリネット2名、ファゴット2名、ホルン2名、トランペット2名、トロンボーン1名 打楽器奏者1名 ヴァイオリン9名、ヴィオラ3名、チェロ3名、コントラバス2名			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	出演者:	33	名	運搬
	スタッフ:	7	名	
	合計:	40	名	
	積載量:	2	t	運搬
	車長:	6.5	m	
	台数:	1	台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	仕込み9:00~10:00 ゲネプロ10:30~12:00		13:30~15:00	15分	15:00~16:00	16:00

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	20日	20日	20日	20日	
	11月	12月	1月	計	160日	
	20日	20日	20日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	20名(指揮者・ヴァイオリン演奏)500名 (ヴァイオリン体験)
		鑑賞人数目安	体育館収容人数に合わせます。

体育館舞台下を利用。
フロア占有面積 横15m×縦10m



●リズムの効果体感コーナー
リズムの効果を学習。
全員参加型セッションにより効果を体感。

●ヴァイオリン体験
児童生徒の皆様・保護者・先生方**全員**にヴァイオリン
に触れていただきます。奏者全員でレクチャーします。

公演に係るビジュアル
イメージ
(舞台の規模や演出が
わかる写真)



●指揮者体験
2名~3名体験していただけます。



●楽器紹介
オーケストラで使われる楽器を奏者が紹介

※採択決定後、図
面等の提出をお願い
します。



児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	特に制限はありません。 体育館収容人数に合わせます。
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>演奏者(司会含む)6名を派遣</p> <p>●オーケストラで使用する楽器の仕組みや特徴を実演を伴い解説する。 奏者一人一人が楽器を紹介し、それぞれに楽器とのエピソードなど交えて紹介していく。 楽器単体での演奏を聴くことで弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器それぞれの特徴を知り、音色の違いを学ぶことができる。</p> <p>●演奏者によるミニコンサート。 オーケストラとは何か、合奏とはどういうことかを実際に曲を聴きながら学んでいく。 メロディ・ハーモニー・リズムがだんだんと増え曲の雰囲気が変わっていく様子を体感し、本公演への興味をより高めることが可能。</p> <p>●本公演「リズムの効果体感コーナー」で共演する為のリズム講座。 ジャンルや曲によって異なるリズムパターンの違いなども併せて実演を伴い解説する。 様々な国の特徴的な拍子を紹介。身近な楽器から少し珍しい楽器・手作り楽器などを用いて解説しリズムに関してジャンルを問わずに知ることができる。 手拍子で子どもたちも参加し、拍子や曲の雰囲気を味わうことができる。</p> <p>●リズム講座を踏まえ、シンプルなリズムを使って共演。 数パターンのリズムを学び、セッションに挑戦する。体を使ってリズムを表現し、奏者の演奏と共演することによって音楽に参加する楽しさを体感することができる。</p> <p>●質問コーナー 奏者や楽器についての質問はもちろんのこと、裏方の話や本公演についての期待している点や楽曲についての質問なども受け、より本公演への期待を高めることができる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>●オーケストラ鑑賞に対するねらい 演奏家による実演を交えた直接指導により、本公演での共演がより良い完成度で迎えられるための手助けを行う。 実際の演奏や話を聴くことで、オーケストラについて少しでも興味を高め、本公演への興味関心を引き出す。 また、奏者やスタッフとの距離感が近くなることでオーケストラへの親近感が湧き、クラシックを聴いてみようとする子どもが増えることも期待している。キャリア教育ともリンクし子どもたちの将来へつながる公演を目指す。 本公演でワークショップのことを思い出し、楽器の音色や演奏方法などに着目して鑑賞できるようにする。</p> <p>●新しい鑑賞スタイルの提案と振興 感染症対策を念頭に置いた音楽授業への取り組み方を最新ガイドラインに沿ってレクチャーする。来るかもしれないウィズコロナ時代を視野に入れた、今後の鑑賞スタイルの提案と振興もねらいとしている。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>●学校の要望によっては、半数をオンラインで実施するなどの工夫も可能。</p> <p>●体育館の収容人数に応じて体験人数を増やすことも可能。</p> <p>●体育館以外での実施も可能。音楽室や多目的室など。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】

<p style="text-align: center;">本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>【子どもたちに本格的な音楽体験を！】 創設以来一貫して実施している地元・茨木市内を中心とした教育機関への訪問コンサートは、まず音楽を楽しんでもらう、という事に加えて、将来音楽と関わっていく人材の育成、長い視点で考えた上でのクラシック音楽の振興を目的とした側面も持ちます。そうして培った演奏理念は間違いなく全国の子どもたちにお届けする価値があると自負しております。</p> <p>数多く子どもたちに向けた演奏をするなかで、その意図をはっきりさせ、「楽器の特色」「リズムの魅力」など、明確にテーマ分けすることで、より深く音楽が持つ力であったり、その意味を伝えることができると感じております。</p> <p>今企画内の「リズムの効果体感コーナー」では、子どもたちが参加する企画ですが、こちらは聴衆が叩く手拍子により、オーケストラの演奏の様子が変化していく演出が盛り込まれています。打ち込むようなリズムとはかけ離れた楽曲が、自分たちの手拍子によって変化していく様を体験できます。演奏する側に回る魅力を存分に感じていただける新しい提案です。</p> <p>「ブルチネルラ組曲」においては、楽曲が持つスタイル、各楽章において主役になる楽器を曲間解説に入れ込んで演奏することで、各楽章の聴きどころを明確に示して注目してもらい易くすることができます。まずは音楽の持つ効果、意味を意識していただき、今後子どもたちが自発的に音楽に取り組んでいくきっかけを作る機会になるように作成した企画となります。</p> <p>また、当楽団の「ヴァイオリン体験」では児童生徒・先生方全員にヴァイオリンに触れていただく体験ができます。クラスから1～2名は弦楽器奏者が付き添い演奏体験をし、そのほかの皆様はヴァイオリンを直に触ったり、弦を弾いたり、奏者へ質問をするなどの時間を設けております。普段あまり触れる機会のないヴァイオリンを全員に触っていただくため、毎回20本以上の楽器を用意し調弦などメンテナンスもきちんと行っております。</p> <p>聴く・観るだけでなく実際に「触れる」という活動を通して子どもたちの音楽への興味関心をより高め、豊かな情操をはぐくむことができると考えます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>【学校側の負担をできるだけ減らす工夫】 昨年度までに多数の学校公演の実績がございますため、打ち合わせ・ワークショップ・本公演まで事務局が率先して学校に効果的な方法をご提案できるノウハウがあります。学校側にわかりやすくご提示し細かい内容も反映できる打ち合わせ資料を作成しております。</p> <p>ワークショップ実施時に、本公演時の会場、搬入経路、控室などについての確認を行い、懸念点を先生方と共有してまいります。</p> <p>元教員の事務局員が、学校の困りどころやスムーズな芸術鑑賞のための工夫、支援の必要なお子様への配慮などきめ細やかに対応します。</p> <p>公演企画の狙い(上記)を明確にし、先生方と共有した上で共演への練習やキャリア教育などについて打ち合わせ等進めて参ります。</p> <p>共演を行う児童・生徒の人数や、実施体形(配置)等確認し、スムーズな実施方法を検討いたします。</p> <p>楽器運搬にもハイエース一台で移動が可能のため、登下校との兼ね合いや車の留め置き問題などがある学校様のご事情にも対応可能です。</p> <p>また、控室の数もできるだけ少なく対応できるよう努めております。</p> <p>学校様ごとのお困りごとやご要望にできる限り幅広く答えていきます。</p> <p>【感染症対策】 感染症対策の方針の共有。児童・生徒、先生方、演奏員、スタッフ全員に有効で、かつ高効率な方法をこちらからも提案し、協議の上実施します。各分野においての最新のガイドラインの情報収集を常に行い、提案し、随時学校と協議して最善策を考えて参ります。</p> <p>感染症が広がりを見せている場合は、使用した椅子やスリッパ、テーブルや小道具などもすべて楽団で消毒の上学校様に返却いたします。</p> <p>これまでの学校コンサートでのノウハウを生かし、学校様の負担をできるだけ減らしつつも安全性を確保できる方法で運営してまいります。</p>
---	--

リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】
項目内容	<p>演目概要</p> <p>○1 山田耕筰「序曲 ニ長調」 邦人作曲家の魅力、まさかこの曲を戦前の日本人が作ったのかという驚きと共にお届けします。日本初の管弦楽の為の作品であり、先のオリンピック式典でも使用されました。</p> <p>○2及び4 楽器紹介 各楽器の特徴の解説と共に、単独での演奏を楽器順に聴いていただきます。</p> <p>○3 ブルッフ「弦楽のためのセレナーデ より 第3楽章」 弦楽器紹介の後に山田耕筰の師であるブルッフの作品。弦楽器の様々な表現の幅を魅せることのできる作品です。また、北欧の民謡を題材として作曲されており、非常に親しみやすい作品です。</p> <p>○5 「からたちの花」 一曲目の「序曲」に続いての山田耕筰作品です。本プログラム前半は、教科書にも出てくる日本を代表する作曲家「山田耕筰」、また日本初のコンテンツの魅力を軸に選曲しています。「からたちの花」では声楽の紹介と共に、北原白秋による日本語の生む美しさについても述べた後に演奏いたします。</p> <p>○6 「リズムの校歌体感コーナー ～アリアを使って～」 アマービレフィルの生んだ体験型プログラムです。音楽における「リズム」の重要性や、演奏に参加する楽しさ、また静かな楽曲にリズムを加えて徐々に様子が変わっていく様子を、会場全員で一緒に演奏しながらまさに体感することができるプログラムです。</p> <p>○7 「ヴァイオリン体験」 実際に本物の楽器(ヴァイオリン)に触れ、オーケストラの楽員と一緒に演奏体験をしていただきます。</p> <p>○8 「指揮者体験コーナー」 本物の楽器に触れて音楽をより身近に感じていただいた後に、実際にオーケストラの前に立って指揮者になっていただきます。短い楽曲での演奏になりますが、一生の思い出にさせていただけることでしょう。</p> <p>○9「プルチネラ組曲」 ストラヴィンスキーが残した今作品は、イタリアバロック作品など古い時代の楽曲に新しく命を吹き込んだもので、主題も美しく、鑑賞のしやすい作品です。各楽器の特徴的な独奏パートも盛り込まれており、各楽器の特徴や演奏者の息遣いを分かりやすく注目して聴いていただけます。また各楽章が短く、加えて曲間には解説のMCを挟んで演奏することで、聴衆の集中力の維持にも繋がります。各楽曲の聴きどころ、見どころを添えて解説いたします。</p> <p>○10 校歌 各学校さまに受け継がれている校歌を、オーケストラ演奏と共に共演して演奏会の終わりを迎えます。</p>	

リンク先	No.1	【公演団体名 一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団】
団体構成員	<p data-bbox="424 297 598 338">指揮者紹介</p>  <p data-bbox="424 871 957 911">松岡 究 Hakaru Matsuoka</p> <p data-bbox="424 943 564 969">プロフィール</p> <p data-bbox="424 972 1449 1339">成城大学卒。指揮を小林研一郎、ヨルマ・パヌラ、ランベルト・ガルデッリに師事。音楽学を戸口幸策に師事。1987年、ドニゼッティ「ビバ・ラ・マンマ」でデビュー。1991年文化庁在外派遣研修員として、ハンガリー・ブダペストに留学。小林研一郎、ランベルト・ガルデッリの下で研鑽を積む。その間スウェーデン・アルコンスト音楽祭にヨルマ・パヌラより招待され、タリン国立歌劇場管を指揮。「卓越した才能」と激賞された。帰国後は主に東京オペラプロデュースを中心に数々のオペラを指揮。93～96年新神戸オリエンタル劇場では常任指揮者としてオペラとコンサートをプログラミング・指揮した。また特にオペラで日本初演した作品は数多い。グノー「ロメオとジュリエット」、ワグナー「恋愛禁制」、ベルリオーズ「ベアトリスとベネディクト」、ヴェルディ「2人のフォスカリ」「一日だけの王様」、ロッシーニ「とてつもない誤解」、「ランスへの旅」(日本人による日本ロッシーニ協会による初演)、R・シュトラウス「無口な女」(舞台初演)、ドニゼッティ「当惑した家庭教師」、ビゼー「美しいパースの娘」、ヘルマン・ゲッツ「じゃじゃ馬ならし」。これらはいずれも各界から大きな反響と高い評価を獲得し、新聞各紙、音楽雑誌などで絶賛された。</p> <p data-bbox="424 1341 1449 1541">この他にも、R・シュトラウス「カプリッチョ」、ブリテン「ねじの回転」(新国立小劇場)等も高い評価を受けた。2009年4月から東京ユニバーサルフィル専任指揮者に、また日本オペレッタ協会の音楽監督にそれぞれ就任した。2004年11月より2007年10月までローム・ミュージック・ファンデーションの在外研修生としてベルリンにて研修。1987年～2008年東京オペラプロデュース指揮者として活躍、2009年～2012年日本オペレッタ協会音楽監督(日本オペレッタ協会は2013年4月に解散)を歴任。2009年より東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団専任指揮者を経て2012年9月より常任指揮者に就任。</p> <p data-bbox="424 1543 1340 1570">2023年4月よりアマービレフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者・音楽監督に就任</p>	

